

（参 考）新旧統計数値の比較について

平成22年10月より、統計数値のさらなる信頼性向上を図ることを目的とし、調査方法及び集計方法を変更したことに伴い、平成22年9月以前の統計数値の公表値とは、時系列上の連続性が担保されないため、数値の連続性を図る観点から、接続係数を設定した。新統計数値と旧統計数値を比較する際は、旧統計数値に接続係数を乗じた値により比較されたい。

接続係数の設定根拠は以下のとおりである。

平成22年10月以降の集計方法（新調査方法）と平成22年9月以前の集計方法（旧調査方法）の両調査方法で平成19年度、平成20年度及び平成21年度の走行キロの年報値を集計し、両調査方法の各年度の比率を平均して接続係数を設定した（第一手法）。

これは、輸送トン数（人員）、輸送トン（人）キロ、能力トン（人）キロ及び実車キロの車種別統計数値と、走行キロとの間に一定の相関関係があると認められるため、基本的に第一手法を採用するものである。

ただし、第一手法により十分に安定的と考えられる接続係数が設定できない車種区分等については、第一手法に加え、旧調査方法より平成22年10月以降の予測値を設定し、新調査方法の統計数値との乖離を平均して接続係数を設定した（第二手法）。

表 1. 車種別の接続係数を設定した手法

車 種 別			輸送トン数（人員）		輸送トン（人）キロ		能力トン（人）キロ		実 車 キ ロ	
			第一手法	第二手法	第一手法	第二手法	第一手法	第二手法	第一手法	第二手法
貨物自動車	営業用	普 通 車		○		○	○			○
		小 型 車		○		○		○		○
		特種用途車		○		○		○		○
		軽 自 動 車	○			○		○		○
	自家用	普 通 車		○		○		○		○
		小 型 車		○		○	○			○
		特種用途車		○	○			○		○
旅客自動車	営業用	乗 用 車	○			○		○	○	

（注）営業用バスについては、調査方法及び集計方法を変更していないため、接続係数を設定していない。

表 2. 車種別の接続係数

車 種 別			接 続 係 数			
			輸送トン数(人員)	輸送トン(人)キロ	能力トン(人)キロ	実 車 キ ロ
貨物自動車	営業用	普 通 車	r 1.146	r 0.653	0.909	r 0.835
		小 型 車	r 0.955	r 0.714	r 0.846	r 0.853
		特種用途車	r 1.271	r 0.768	r 1.022	r 0.766
		軽 自 動 車	1.031	r 0.660	r 0.916	r 0.940
	自家用	普 通 車	r 0.831	r 0.749	r 0.818	r 0.590
		小 型 車	r 0.809	r 0.654	0.783	r 0.762
		特種用途車	r 1.016	0.780	r 0.942	r 0.653
旅客自動車	営業用	乗 用 車	0.980	r 0.803	r 0.925	0.980

(注) 営業用バスについては、調査方法及び集計方法を変更していないため、接続係数を設定していない。

また、遡及改訂前の数値については、平成 22 年 9 月以前の月報を参照されたい。

「r」― 改訂数値